

三菱アーティキュレートダンパ M 26

アーティキュレートダンパは、狭あい地、不整地における機動性の良さで国内でもトンネル工事向けに導入普及している。

当社相模原製作所ではトンネル坑道内でのずり運搬用として、排気ガス規制をクリアしたトンネル専用車を開発したので概要を紹介する。

1. 仕様

外観を図1に、主要寸法を図2に、黒煙除去装置を図3に、主要諸元を表1に示す。

2. 特徴

(1) 黒煙除去装置の装着

- エンジンの排気ガスを浄化する、当社独自開発の自動燃焼システムを備えた黒煙除去装置を標準装着している。この装置は、セラミックフィルタにて排気ガス中の粒子状物質を捕そくし、浄化された排気ガスを排出するが、フィルタ内部に一定量の粒子状物質が蓄積されると、自動的に燃焼させフィルタを再生する装置となっている。

(2) 排気ガス認定エンジンの搭載

- 建設省指定トンネル工事用排出ガス対策型認定エンジン三菱6D24T-E1型を搭載し対応している。

(3) 小さな旋回半径の確保

- 第3軸アクスルを持上げ、トランスバース機構を採用し、小さな旋回半径を確保し狭いトンネル内での方向転換を容易にした。

(最小旋回半径：6.0 m, トランスバース未使用時：7.0 m)

(4) 優れた走破性

- トラクタ部とトレーラ部を連結するセンタピンにより、車体の前後が揺動できるオシレーション機構と、トレーラ部のAフレーム式ハイドロフレックスサスペンションにより、不整地でも常に全輪が接地し、大きなけん引力が得られる。

(5) 高い安全性

- サービスブレーキは、前後独立2系統の乾式ディスクブレーキの採用により耐久性、安全性が高い。
- 排気ブレーキは、坂道降坂時の連続制動に威力を発揮し、サービスブレーキ多用によるブレーキパッドの摩耗を防ぐ。
- エマージェンシステアリングシステムを標準装着しているので、エンジン停止時にもステアリング操作ができる。
- 後方の安全確保のため、バックアイテレビも装備されており、運転席内にて後方の安全を確認できる。

(相製 車両・機器技術部車両・機器設計課 大谷)
☎ (0427) 61-1981

本社営業窓口 汎用機事業本部建設機械部一般建機課

☎ (03) 3212-9690



図1 外観

表1 主要諸元

重量	最大積載量	(kgf)	20 000	駆動形式		6 × 4
	車両重量	(kgf)	18 400	エンジン	名称	三菱6D24T-E1
寸法	全長	(mm)	8 250		総排気量 (l)	11 945
	全幅	(mm)	2 495		定格主力 (PS/rpm)	260/2 200
	全高	(mm)	3 230	ミッション	名称	6 WG 200 型
	軸距	(mm)	4 130		形式	電子制御式全自動変速
ベッセル	山積容量	(m³)	13	変速段数	F 6, R 3	
	平積容量	(m³)	10.5	アスル	リダクション	ハイボイドギヤ
	積込み高さ	(mm)	2 500		ファイナルドライブ	フルフルート遊星歯車式
走行性能	最大ダンプ角度	(度)	60	タイヤサイズ		17.5 R 25 (チュープレス)
	最高速度 (空車時)	(km/h)	44	ブレーキ	サービスブレーキ	前後独立2系統、全輪乾式ディスク
	最小旋回半径 (トランスバース使用、車体最外側)	(mm)	6 000		駐車ブレーキ	推進軸制動ディスクブレーキ

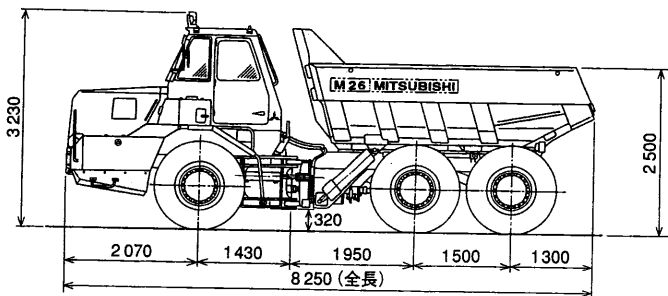


図2 主要寸法

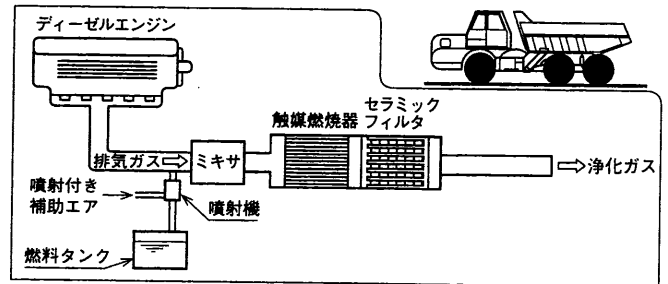


図3 黒煙除去装置